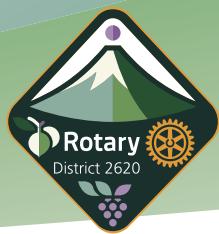


2月  
2026/Vo.8

# ガバナー月信

Govener's Monthly Letter

2025-2026 年度 ガバナーメッセージ 「ロータリアンからはじめましょう」

## 【紛争予防と 4 つのテスト】

国際ロータリー第 2620 地区 2025-26 年度ガバナー  
稻葉 雅之（伊東西 RC）

澄んだ青空に真っ白な雪の富士山がよく映える、2月の 2620 地区。

ロータリーは創立 121 周年を迎えるとともに、「平和構築と紛争予防月間」に入りました。この記念すべき月に、紛争の火種が増していくともされる今の世界における「平和」について、我らが「4 つのテスト」に照らして掘り下げてみたいと思います。

■ なぜ、私たちは「4 つのテスト」を唱和し続けるのか

「4 つのテスト」を暗唱できる方は多いでしょう。しかし、なぜ毎月私たちはこれを繰り返すのでしょうか。

答えは、私たちが「できていないから」だと思います。

古代ギリシャの哲学者ソクラテスの「無知の知」に照らすなら、「自らができていないと自覚する人の方が真の知識や技能を取り入れ、結果として成長できるという、謙虚な探求心」というところです。

或いは「油断すると人は過ちを犯すため、リスク回避のマネジメント」とも言えます。

私たちは日常、つい次のような過ちを犯してはいないでしょうか。

「真実かどうか」を確認せぬまま、根拠のない決めつけや思い込みで、誰かを非難したり攻撃したりしてしまう。

「公平か」という正義よりも、自己都合（好き嫌いや利害関係）を優先して、人を評価してしまう。

これらによって起こる招かざるトラブルにより、不要な時間や感情を浪費することになります。

ロータリアンは、人間が本来持つこの弱さ或いは欲望（必ずしも悪い意味ではありません）というモンスターの存在を知っているからこそ、月に一度、あるいは例会のたびに唱和することで、自らの心を鏡に照らし、バランスを失わないように気を引き締める必要があるのです。

（次ページに続く）



言行はこれに照らしてから

1. 真実か どうか
2. みんなに公平か
3. 好意と友情を深めるか
4. みんなのためになるか どうか

(前ページより続き)

### ■ ハラスメントの判断基準と「2つのポイント」

この精神は、現代社会の大きな課題である「ハラスメント」への向き合い方にも直結します。ある行為が不適切かどうかを判断する際、「内容」と「手続き」とに分類する必要があります。「内容」の真実性：その行為が事実として存在したのか。

「虚偽」「誤解」等ではない真実かどうか、基準に照らし妥当かどうかが確認された上で。

「手続き」の公平性：判断に至るプロセスにおいて、公平かどうかが担保されているか。

特定の主觀や、利害関係、恣意などが混じっていないか。

これら「真実」でも「公平」でもない基準がまかり通ることで、人間関係の争いは醸成されます。身近なコミュニティにおいて、この2点を厳格に守ることは、紛争予防の第一歩なのです。

### ■ 世界平和への処方箋

争いの火種や激化は、いつも「真実の欠如」と「不公平感」が拍車を掛けます。

もし私たちロータリアンだけでなく、世界中の人々が何かを言行する前に、必ずこの「4つのテスト」というフィルターに照らすことができたら、どうでしょうか。要するに、真偽不明な情報を鵜呑みにしないということ、そして公平性を持つということです。この単純かつ深遠な問いを、世界中のリーダーが、そして市民の一人ひとりが自らに課して向き合うならば、地球上から少しでも関係悪化や紛争発生は減るはずです。それは「好意と友情を深める」こととなり、やがて「みんなのためになる」のです。

毎月の唱和は、かつて「2度と戦争を繰り返さない」との願いから、平和につながる様々な事業を始めた日本のロータリアンの覚悟に、通じるものがあるようと思いませんか。

改めて、「4つのテスト」の重みを感じてみましょう。

私たちの言行はこれに照らしてからです。



ウクライナ支援を行うザモスク・オルディナツキ RC

### 1月17日に青少年交換小委員会研修が開催されました

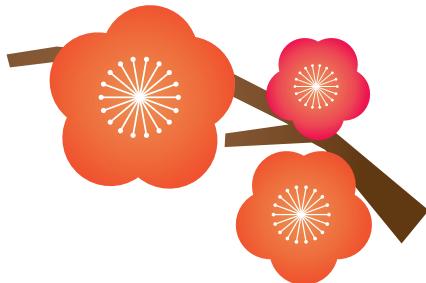
第3回長期受入学生・長期派遣候補学生研修会、受入クラブ研修、危機管理研修を1月17日、静岡商工会議所402号室で開催いたしました。稻葉雅之ガバナーから、2024-2025年度派遣ロータリー青少年交換学生の淡路健太郎さんへ卒業証書を授与しました。また、2025-2026年度ロータリー青少年交換長期受入学生・受入クラブ研修、2026-2027年度ロータリー青少年交換長期派遣候補学生・受入クラブ研修、故郷づくり推進活動（春休み）についての説明のほか、地区危機管理委員会の猪狩学委員長が危機管理についての講話を行いました。



## ババロラ R I 会長エレクトが 2026 ~ 2027 年度メッセージを発表

国際協議会が 1 月 11 ~ 15 日まで米国フロリダ州オーランドで開かれ、次年度 R I 会長オンラインカ・ハキーム・ババロラ氏（ナイジェリア、トランス・アマディ RC）はメッセージ “CREATE LASTING IMPACT”（持続可能なインパクトを生み出そう）を伝えました。

国際協議会でババロラ R I 会長エレクトより直にメッセージを受け取られた若林秀典ガバナーエレクトが、2 月 28 日の地区チームラーニングセミナーを皮切りに開かれる、会長エレクトラーニングセミナー、クラブ・リーダーシップ・ラーニングセミナー（地区研修・協議会）等の次年度に向けたセミナーを通して、地区の方針・計画とともに詳細を伝えられます。



## ロータリー国際大会 台湾・台北 地区ナイトのご案内

来る 2026 年 6 月、本年度を締めくくる事業として、また次年度の始まりを告げる事業としてロータリー国際大会が台北にて開催されます。期間は 6 月 13 日から 17 日、期間中は様々な行事が実施されるますが、その初日の 13 日に 2620 地区・地区ナイトを開催いたします。

親睦を深め、楽しいひと時を皆さんと過ごしたいと思っております。今回の国際大会は台湾台北という立地に恵まれておりますので、多くの皆さまをお迎えしたく、準備を進めております。ぜひ、ご参加くださいますよう、よろしくお願ひいたします！

日 時：2026年6月13日(土) 18:00

場 所：徐州路2号ガーデンクラブ

住 所：台北市中正區徐州路 2 號

<https://www.tgarden.com.tw/>

会 費：15,000 円（台北での地区ナイトの参加費です）

※お申込書を各クラブにメールさせて頂きます。

よろしくお願ひいたします。

